

パブリックコメントの取りまとめ結果について

計画等の案の名称	伊豆の国市地域公共交通計画（案）	
公募期間	令和 6 年 1 月 29 日（月）から令和 6 年 2 月 28 日（水） 午後 5 時まで	
提出人数	2 人	
意見等の件数	9 件	
内訳	意見等により修正した件数	1 件
	意見等を考慮した上で修正しなかった件数	8 件

意見等の概要

1 意見等により修正したもの

1	該当ページ	<u>1、6 ページ</u>	項目 第 1 章 計画の概要 1 計画策定の目的 第 2 章 現況と課題 3 地域公共交通が抱える課題
	意見等	自動車「依存」ということばが悪いことばに聞こえるが、手段が無い人にとってはどうでしょうか。	
	修正した理由	ご意見を踏まえ、該当箇所を以下のとおり修正いたします。	
	修正内容		
	修正後		修正前
	<p>【1 計画策定の目的（1 P）】 しかしながら、本市においては、<u>自動車の利用頻度が高く</u>、地域公共交通の利用者数が減少傾向にあります。</p> <p>【課題 1：地域公共交通の維持が困難（6 P）】 ・本市の市内から市街への移動特性として、<u>自家用車利用が約 7 割と非常に高く</u>、公共交通利用者はコロナ禍以前から減少傾向にあります。</p>		<p>【1 計画策定の目的（1 P）】 しかしながら、本市においては、<u>自動車依存度が高く</u>、地域公共交通の利用者数が減少傾向にあります。</p> <p>【課題 1：地域公共交通の維持が困難（6 P）】 ・本市の市内から市街への移動特性として、<u>自家用車依存が約 7 割と非常に高く</u>、公共交通利用者はコロナ禍以前から減少傾向にあります。</p>

2 意見等を考慮した上で修正しなかったもの

1	該当ページ	<u>10 ページ</u>	項目 第4章 目標達成に向けた事業 目標1 地域公共交通の利用者の増大 1-1 利用しやすいバス停留所等の環境づくり
	意見等	バス停にセンサーライトの設置あるいは、小中高生に地域協力ボランティアとして、時期ごと北条家のデザインライト、竹灯り、クリスマス飾り、ラブライブ飾りをしてもらうはどうでしょうか。日が暮れた照明のない長岡中前のバス停は真っ暗で、一人で待っていると怖かったです。 観光地や保育園、産婦人科前など利用したい人がいる場所の目の前にバス停を移動することが、1番利用者が増える手段になると思います。	
	市の考え	バス停の管理はバス事業者となりますが、バス停へのセンサーライトの設置や時期に応じたデザイン、目的地前へのバス停の移設は、利用しやすいバス停留所等の環境づくりに向けた具体的例となるため、ご意見をバス事業者と共有し、今後の取組の参考とさせていただきます。	
2	該当ページ	<u>13 ページ</u>	項目 第4章 目標達成に向けた事業 目標1 地域公共交通の利用者の増大 1-5 運転免許証自主返納の促進
	意見等	現在は通院に不自由していないが、近い将来運転免許の返納を考えているので、それが一番不安かもしれません（買い物などは手段がありますが）。	
	市の考え	運転免許証を返納しても安心して外出できる環境づくりと自家用車の代替手段の確保に努めてまいります。	
3	該当ページ	<u>14 ページ</u>	項目 第4章 目標達成に向けた事業 目標2 交通ネットワークの最適化 2-1 自主運行バスの運行内容の見直し
	意見等	バスの運転手が足りなくなっていることは、ニュースなどで把握していますが、小中学生の通学手段の確保は将来のためにも必要だと思えます。意見交換の場など設け、ぜひ維持して欲しいと思えます。	
	市の考え	児童や生徒の登下校の交通手段を確保しつつ、多くの市民が利用しやすい交通ネットワークを構築するため、地域住民の皆様との意見交換の場を積極的に設け、持続可能な公共交通に向けた取組を進めてまいります。	
4	該当ページ	<u>17 ページ</u>	項目 第4章 目標達成に向けた事業 目標3 市民主体による交通手段の構築 3-1 地域との交通手段の検討会の開催
	意見等	千代田団地と伊豆長岡駅を接続するバスの運行が必要です。	
	市の考え	市自主運行バスの新設や路線延長については、需要や周辺の交通事情等を検証しつつ、地域住民の皆様や交通事業者との協議の上、慎重に検討していく必要があります。 最適な交通ネットワークの構築に向けて、まずは地域住民の皆様との意見交換を通じて、地域の実情やニーズの把握に努めてまいります。	

5	該当ページ	<u>18 ページ</u>	項目 第4章 目標達成に向けた事業 目標3 市民主体による交通手段の構築 3-3 互助や共助による交通手段の導入支援
	意見等	まだまだ元気で運転できる高齢者も多くいると思います。そういった方々と協力することができると良いと思います。	
	市の考え	元気で運転できる高齢者の皆様は、今後の交通ネットワークの構築に向けた、大切な地域の力であると捉えております。 市内各所で実施する地区座談会などを通じて、ご協力いただける皆様と関わりを持ち、地域力の把握に努め、互助や共助による交通手段の導入に向けた取組を進めてまいります。	
6	該当ページ	<u>21 ページ</u>	項目 第4章 目標達成に向けた事業 目標4 誰もが外出しやすい環境づくり 4-3 バス停留所の安全性と快適性の向上 4-4 バリアフリー化の取組充実
	意見等	マックバリュなど店舗敷地内の入口付近にバス停を設置してもらえると便利になると思います。 順天堂病院についても、病院内のロータリーに設置してもらえると安全に利用できると思います。	
	市の考え	民間施設におけるバスの発着環境の改善に当たっては、民間施設と交通事業者の協議による部分が大きく、市としての関わりは限られますが、バリアフリー化や安全なバス利用の推進のため、市として取り組める内容やその可能性を検討してまいります。	
7	該当ページ	<u>22 ページ</u>	項目 第4章 目標達成に向けた事業 目標4 誰もが外出しやすい環境づくり 5-1 レンタサイクル、シェアサイクルの充実
	意見等	自転車レンタルサイクルを促進するためにも、安全に走行できる道路幅の確保をお願いします。 自転車の転倒リスクを軽減させるため、車道の水捌け用の斜めコンクリート(歩道側に低くなる)、無駄に高さのある歩道ブロックを減らす必要があります。ベビーカーや車椅子が歩道から車道を横断して反対側の歩道に移動した時、1cm以上高さがあり登れない光景を何度か見かけたことがあります。 観光サイクルロードを中心に、空き家や空き地の買取りを行い、道を拡幅することが望まれます。 狩野川の堤防は、橋の下をくぐれるような歩道(サイクルロード)が必要です。 伊豆の国市の狩野川周辺では、橋がとても生活には必需で、車の交通量がかかり多い橋の横断はとても危険です。 心置きなく無心にサイクリングできる環境整備が必須となるかと思われます。	

	市の考え	<p>レンタサイクルの利用促進に当たっての道路幅の確保や段差の解消、狩野川堤防のサイクルロードや歩道の整備等は、河川管理者と協議の上、中長期的な整備計画が必要となります。安心して心置きなくサイクリングが楽しめる環境の整備に向けて、関係機関と協力及び協議しながら、市として取り組める内容を検討してまいります。</p>	
8	該当ページ	該当なし	項目（該当なし）
	意見等	<p>災害時に緊急車両が通行できるよう、家屋の新築や増改築の際には、道路を広くすることを条件とする内容を盛り込んだ条例を制定するなど、狭隘道路や無用な塀・ブロック塀をなくしていく必要があると考えます。</p> <p>自動車・バイク・自転車を通る車道、車椅子・ベビーカーが通る歩道、バス停留所のスペースが確保できるよう街づくりをお願いしたい。</p> <p>駅前の通りやロータリー敷地が狭い。広くしていれば駅周辺が今より発展していたと考えます。</p>	
	市の考え	<p>ロータリーなど民間施設用地の拡大は、市として対応できることが限られますが、狭隘道路や無用なブロック塀等の解消には、家屋の新築時など建築基準法に規定する道路幅員4メートル未満の道路等の拡幅整備を指導しております。また、道路行政を含む都市計画と地域公共交通の分野は、今後より一層連携していくことが求められており、本計画でも「伊豆の国市都市計画マスタープラン」との整合性を図りつつ「伊豆の国市立地適正化計画」と連携するよう位置付けております。</p> <p>市としても、事業や施策の取組結果やその評価を担当部署間で確実にフィードバックし共有することで連携を深め、市民の皆様が安全で安心して外出できるまちづくりを目指してまいります。</p>	